

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい書写）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を正しく整えて速く書くために必要な知識及び技能が「書写のかぎ」として明確化・焦点化されている。 ・ 「生活に広げよう」では、書写の活用を具体的に想起させ、思考力、判断力、表現力等を高めるよう工夫がなされている。 ・ 言語に関わる文化に触れ、伝統文化を尊重し継承しようとする態度を養い、手で書くことの価値に気付くよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<p>(1) 楷書や行書、両者の使い分け、場面や目的に応じた書き方などを習得できるよう発達段階に応じた教材文字が配置されている。</p> <p>(2) 興味・関心を喚起し文字文化の豊かさに触れる「文字といっしょに」や生活に即して知識及び技能を活用する「生活に広げよう」が設けられ、主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。</p> <p>(3) 一つの単元が「見つけよう・確かめよう・生かそう」の3段階で構成されていて、生徒の気付きを起点に具体的な知識及び技能が身に付けられるように配慮がなされている。</p> <p>(4) 紙面は、原則として文節で改行することで、文章を読むことに困難を抱える生徒への配慮がなされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 「書写のかぎ」で、点画の書き方や省略、行書と仮名の調和などの学習事項を段階的に指導できるよう単元が配列されている。</p> <p>(2) 楷書と行書を比較して、点画等の差を意識し、硬筆・毛筆ともに基礎的な技能を段階的に指導できるよう配慮がなされている。</p> <p>(3) 目的に照らして書写の力を生かす「書写活用ブック」に、様々な題材が配列され、生活に役立つ力を育てる工夫がなされている。</p> <p>(4) 行書の「動き」などを示す淡墨図、運筆動画につながる二次元コードが一覧で示され、指導に生かせるよう工夫がなされている。</p> <p>(5) 「行書のまとめ」や「書写テストに挑戦！」などで、まとめや評価の観点が、生徒や教師に明確になるよう工夫がなされている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字文化の豊かさに触れ、生活とのつながりから書写を学ぶ必要性を感じて主体的に学習できるよう配慮がなされている。 ・ 書写で身に付けた力を日常で活用することを想起させ、思考力、判断力、表現力等を高める工夫がなされている。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	三省堂（現代の書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆学習で習得したことを硬筆学習でもくり返し書くことによって、知識及び技能の習得ができるよう工夫がなされている。 ・ 全ての教材に学習目標と振り返りが設定されており、生徒が主体的に学習に臨めるよう配慮がなされている。 ・ 豊かな文字文化への認識が深まるような教材を設けることにより、文字や手書きの意義を認識できるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校の既習事項の確認からはじまり、楷書、行書、文字文化へと学習が進み、発達段階に即して教材が系統的に配列されている。 (2) 文字の変遷や身の回りの文字、日常の書式が取り上げられたり、普段の文字に生かす活動が提示されたりするなど、生徒が興味をもって主体的に学びを進められる工夫がなされている。 (3) 各学年末に、書写で学んだことを生かすことができる活動を取り上げ、かつその活動が対話的なものになっており、気づきを共有しながら、知識及び技能の活用ができる構成となっている。 (4) 運筆動画等が必要だと考えられる場所に二次元コードが掲載され、個別最適な学びが保障されるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 楷書体から行書体、行書と仮名の調和、というように段階的な単元配列がなされ、社会生活に生きる学びの構成となっている。 (2) 系統的・段階的な教材の配列、「書き方」の段階的な明示により、既習事項を活用した学習が積み重ねられる配慮がなされている。 (3) 毛筆学習後に「書いて身につけよう」という硬筆学習が設定され、日常生活、社会生活への活用を意識した工夫がなされている。 (4) 筆の運び方の指導が必要な箇所に二次元コードが掲載され、視覚的に筆の運び方が指導できるよう工夫がなされている。 (5) 単元終末に「振り返ろう」「書いて身につけよう」が示され、まとめや評価の観点が明確になるように工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆学習のあとに硬筆で繰り返し学習することにより、社会生活に生きる力が育まれるよう配慮がなされている。 ・ 「書き方」の段階的な明示により、既習事項を活用した学習が積み重なり、技能の高まりが実感できる構成となっている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（中学書写）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭で「学習の進め方」が示され、学習過程を自分で確認しながら必要な知識及び技能を習得できるよう工夫がなされている。 ・ 「考えよう」の学習では、話し合いを通しての気づきを教科書に直接書き込み、課題解決に向けた学びの工夫がなされている。 ・ 書写の学習内容に沿ったノートの取り方や、掲示物・案内の書き方等、日常生活に活用できる教材構成がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 硬筆・毛筆教材ともに、生徒の発達段階や語彙・言語環境が考慮され、学習要素が明確な文字や語句が教材化されている。 (2) 日常活動で使う多様な筆記用具や、レポート・ポスターから小包伝票の書き方などが示され、実生活で生きて働く力を育成できるよう工夫がなされている。 (3) 「考えよう」の場面では、教材文字と試し書きを比べたり、話し合い活動で意見を交換したりしながら、自分の課題に気づき、必要な技能を身に付けられるように工夫がなされている。 (4) 半紙形のイメージがもてる横幅の広いA B判で紙面構成され、学習内容や手順が見開きで示されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 楷書から行書、仮名文字との調和、身の回りの多様な文字の表現効果へと、発達段階に応じた単元が配列されている。 (2) 運筆方法などの基礎・基本を確実に習得し、学年が上がるにつれ個々の力に即した書写に挑戦できるよう配慮がなされている。 (3) 「学習を生かして書く」の教材では、習得したことを他教科の学習や日常生活に活用できるように関連が図られている。 (4) 書くことの変遷をたどった「コラム」で、生活や暮らしと結び付けながら、書写の目的や奥深さを伝える工夫がなされている。 (5) 「試し書き」「まとめ書き」の欄があり、自分の課題や成長に気づきながらどう学ぶかを考える工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習の進め方」が明示され、生徒自身が「どのように学ぶか」という見通しをもち、主体的に学べるよう工夫がなされている。 ・ 書写で身に付けた力を、他教科の学習活動や日常生活で発揮できるように配慮がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">光村図書（中学書写）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の基礎・基本、原則・原理を明確に示すことで、知識及び技能を習得できるよう工夫がなされている。 ・ 全教材で学習展開が固定されており、見通しをもって学習できるよう工夫がなされている。 ・ 身の回りの文字文化に触れられる資料が取り上げられていて、書写学習で身に付けた力を活用できるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の発達段階に即した書体が示されており、国語の教材や日常生活に関連した文字や言葉、文章が選定されている。 (2) 手紙やはがき、原稿用紙等の書式や、学校生活や日常生活に生かせるような活用例等が示され、生徒が興味・関心をもてるよう配慮がなされている。 (3) 「考えよう」をきっかけにした気付きをもとに、「確かめよう」で原理・原則を確認し、「生かそう」で日常生活に生かす手がかりとすることができるよう工夫がなされている。 (4) レイアウトや配色、フォントを工夫することで、混乱や読みにくさが生じないよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 3年間の学習を日常で活用できるよう、発達段階に合わせて段階的かつ系統的な単元の配列になっている。 (2) 毛筆教材や「書写ブック」を相互参照しながら活用することで、基礎的な技能を段階的に指導できるよう配慮がなされている。 (3) 生活の中にある楷書や行書の作例を掲載し、書写で得た知識及び技能を硬筆に生かすイメージをもてるよう工夫がなされている。 (4) 筆の動きを写真で示すだけでなく、運筆などの動作を確認したいときに確認できるよう、二次元コードが配置されている。 (5) 全教材のはじめに目標が明示されており、それに即して学習に取り組み、自己で振り返りができるように構成されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や二次元コードが配置されており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるよう工夫がなされている。 ・ 「中学校書写スタートブック」や「書写ブック」が設けられ、毛筆を意欲的に学べるとともに、硬筆と繋げて学ぶことができる。